京都大學文學部哲學科
卒業論文題目

昭和二十三年九月

哲學

梅原　猛　時
浦野　信夫　神の理念的把握について
川尻　法爾　辯證法的唯物論に於ける認識に就いて
高松　信雄　ヤスパースに於ける超越の問題
津山　玄昌　構想力について
松本恭一郎　論理的者と感情
—Bergson 哲學の認識根據—
山中　良知　絶望と思寵
—キェルケゴールとカルビン—

支那哲學史

深谷　周道　宋學前史として見たる原人論の研究

心理學

小西勝一郎　犯行の心理に就て
多田　榮治　學習に於ける騒音障害の一考察
張　知夫　幼兒の社會行動
中島　誠　時間繼時比較に於ける時間錯誤に就いて

倫理學

岩崎彰之助　Kant に於ける Vernunft と Gott の關係
岡部　建明　親鸞
北野　知之　ハイデッガーに於ける「哲學」について
—基礎的存在論とその基礎—
根岸　元彦　中江藤樹の思想について
三島　彦介　カント倫理について
山村　直資　キェルケゴール的實存と罪の問題について

教育學教授法

藤井　敏孝　ペスタロッチに於ける教育的人間像
—「探求」の根本思想—

宗教學

今井　晉　基督教神學の方法論に關する一考察
神崎大六郎　基督教信仰の逆理性に就いて
澤山　文治　最高善の性格をめぐつて

幸　日出男　パウロの神學における歴史の意義

社　會　學

木村　孝　社會圏としての世界社會

小泉　武　流行論

小林　啓巳　半農半漁村の社會構造
—隱岐知夫島の實態調査—

作田　啓一　制裁

佐々木文平　現代大都市に於ける移動性と大都市人

細谷眞三郎　輿論特に輿論調査に就いて

元川喜太郎　印度のカスト

山田　操　多元的國家論の考察

山本　隆一　農民離村について

佛　教　學

金剛　義尙　天臺六卽論の研究